



写真1 対象地域の有機農家夫婦（カヤパ町）。生産者（裨益者）の中でも、有機農法にもっとも熱心に取り組み、栽培の難しい白菜、ニンジン、トマト、アイスバーグレタス（結球したレタス）等を有機で栽培することに成功している。



写真2 2013年8月。雨除けビニルハウス（ドゥパックス・デル・スール町）。手前が Tasty Bright という日本のキュウりに近い品種。現地では珍しくフィリピン産のキュウリの倍の値段で取引される。右奥は絹さやエンドウ。どちらも高付加価値野菜。



写真3 2013年11月の農場視察にて。雨除けビニルハウスの中（サンタフェ町）。側面の虫よけネット（黄枠）は農民の自助努力によって設置された。

フィリピン国「ヌエバ・ビスカヤ州における有機・減農薬農産物の生産を通じた貧困農民の生計向上支援」  
案件審査会 事業内容を説明する写真



写真 4 2013年10月 農業省が主催したフィリピン国際コンベンションセンターでの販売風景（メトロマニラ）。写真左手を奥に見えるのが開発した有機認証。



写真5 2013年9月マカティ市レガスピ日曜市での販売。フィリピン屈指の高級ビジネス街・住宅街の近くにて実施されるため、顧客は富裕層が多い。毎週送った野菜・果物は数時間でほぼ完売している。



写真 6 2013年8月マーケティング組織（Vizcaya Fresh! Organic Advocates Inc.）ロンチング。事業対象地であるドウパックス・デル・スール町カロロタン村およびカナバイ村の有機農産物生産者（本事業裨益者）と。中央はフィリピンの女優で環境活動家、有機農産物愛好家でフィリピン全国的に知られる Gutierrez 博士。同イベントの基調講演を行った。